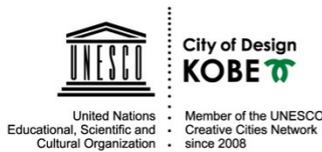


issue+design、神戸の経験を集め、伝える 「震災20年 神戸からの メッセージ発信事業」始動



社会の課題に、市民の創造力を。

issue + design

震災15年+ユネスコ・デザイン都市認定記念プロジェクト

KIITO:

DESIGN AND CREATIVE CENTER KOBE
デザイン・クリエイティブセンター神戸

「社会の課題に、市民の創造力を。」をテーマに、社会課題をデザインの持つ美と共感の力で解決するissue+designは、ユネスコ・デザイン都市に認定されている神戸市と、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案する「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」との協働で、2014年6月16日より、神戸の経験を集め、伝える「震災20年 神戸からのメッセージ発信事業」を始動いたします。

2015年1月17日、阪神・淡路大震災から20年を迎えるにあたり、震災以降、神戸で生まれた教訓や知恵を共有し、発信する「震災20年 神戸からのメッセージ発信事業」を実施します。

この事業では、震災を体験した市民はもちろん、体験していない市民の思いも集めて可視化し、「震災を経験した神戸だからこそできること」を市民とともに考え、市民とともに発信していきます。

阪神・淡路大震災の時に世界中から支援を受け、助け合うことの大切さを学んだ神戸が、世界に貢献できるまちとなり、そのことが市民の誇り（シビックプライド）となることを目指します。

※なお、この事業は、ユネスコ・デザイン都市に認定されている神戸市と、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案する「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」との協働で行い、デザインの持つ力を最大限に活用しながら進めていきます。

1. 「震災20年 神戸からのメッセージ発信事業」の概要

- ・震災以降、さまざまな社会貢献活動を行ってきた市民や、復興のための事業を行ってきた市職員にインタビュー
- ・「震災を体験した人」と「震災を体験していない神戸市民」へのアンケート
- ・ワークショップ「震災20年を語ろう」を開催
- ・特設ウェブサイトの開設
- ・インタビュー、アンケート、ワークショップで集めた市民の思いを、具体的に表現するロゴマークとキャッチコピーを作成

2. アンケートの概要

- (1) 実施期間 | 平成26年6月16日（月曜）から平成27年3月31日（火曜）
- (2) URL | http://issueplusdesign.jp/shinsai20_question/

ウェブサイトのほか、アンケート用紙に記入する方法でもご回答いただけます。
アンケート用紙は、市総合インフォメーションセンターで配布しております。

3. ワークショップ「震災20年を語ろう」の概要

ショートレクチャー	「阪神・淡路大震災を振り返って」（神戸市広聴課長 古川厚夫）
トークセッション	「神戸の過去20年と神戸の未来について」 慈 憲一氏（ナダタマ） 内平 隆之氏（兵庫県立大学准教授） 西川 亮氏（NPO法人Co.to.hana代表/デザイナー） 古川 厚夫（神戸市広聴課長）
ワークショップ	「震災20年の神戸の経験を日本に、世界に伝えるために何が可能か？」
(1) 日 時	平成26年7月11日（金曜）19時～21時
(2) 場 所	デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）神戸市中央区小野浜町1-4
(3) 申込方法	電話・FAX・メールで（先着順） ※FAXかメールの場合は、①氏名②電話番号③参加人数を記入し、 表題を「震災20年を語ろう参加希望」と明記。
(4) 申込先	神戸市広報課 ※電話078-322-5013、FAX 078-322-6007 メールアドレスkobecity001@office.city.kobe.lg.jp
(5) 参加費	無料
(6) 人 数	100名

4. 特設ウェブサイトの開設

※特設ウェブサイトは、10月に公開予定です。どうぞご期待下さい。

**皆さんの経験の一つひとつが
神戸の財産です。
震災の教訓や知恵を日本に、
そして世界に伝えるために
ご協力ください。**

■神戸市「震災20年 神戸からのメッセージ発信事業」リリースページ
<http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/information/kobeaction/>

■issue+designとは (<http://issueplusdesign.jp>)

2009年より開始した神戸市、博報堂他が運営に参加する神戸市のユネスコ・デザイン都市認定記念プロジェクト。「社会の課題に、市民の創造力を。」をテーマに、東日本大震災支援のボランティアツール「できますゼッケン」や神戸市若者向けうつ病・自殺予防サービス「ストレスマウンテン」など、様々な社会課題解決のためのデザインを制作している。

■問い合わせ先

issue+design「震災20年 神戸からのメッセージ発信事業」事務局 担当：筧、白木、岡本、小菅
TEL：03-6441-7752 E-Mail：info@issueplusdesign.jp HP：<http://issueplusdesign.jp>